



# 平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月24日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 シマノ

コード番号 7309 URL <http://www.shimano.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 島野 容三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 平田 義弘

TEL 072-223-3254

四半期報告書提出予定日 平成24年5月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	62,472	22.7	10,769	47.1	10,101	56.9	6,998	217.2
23年12月期第1四半期	50,900	1.3	7,323	1.1	6,438	△4.4	2,206	△56.5

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 15,311百万円 (346.0%) 23年12月期第1四半期 3,432百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	75.49	—
23年12月期第1四半期	23.53	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	229,901	190,363	82.5
23年12月期	216,000	181,774	83.9

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 189,710百万円 23年12月期 181,189百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	30.50	—	30.50	61.00
24年12月期	—				
24年12月期(予想)		30.50	—	30.50	61.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	118,000	10.1	19,000	24.6	18,500	35.5	13,000	88.3	140.23
通期	233,000	5.1	36,500	15.0	36,000	13.6	25,000	25.9	269.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	92,720,000 株	23年12月期	93,800,000 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	12,436 株	23年12月期	32,168 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	92,707,708 株	23年12月期1Q	93,768,269 株

## ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。

業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

## 添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2 . サマリー情報(その他)に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3 . 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1)連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におきましては、欧州では政府債務問題が小康状態を迎える中、ユーロは他国通貨に対しやや持ち直したものの景況感は依然振るわず、低迷状態が続いておりました。一方、今秋に大統領選挙を控えた米国や新興国では、緩やかな株価上昇の中、景気は底を脱し徐々に回復の気配が見え始めました。

国内におきましては、景況感こそ震災前の水準まで回復したものの、電力供給不安や依然として続く円高により実体経済の足取りは重く、需要・供給ともに力強さに欠ける展開となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよきこびに貢献する。」を使命に、こころ躍る製品づくりを通じて、市場の活性化に努めるとともに、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしてみたいといたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は62,472百万円(前年同期比22.7%増)、営業利益は10,769百万円(前年同期比47.1%増)、経常利益は10,101百万円(前年同期比56.9%増)、四半期純利益は6,998百万円(前年同期比217.2%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 自転車部品

欧州では、1月後半から2月前半にかけて寒波に覆われた期間もありましたが、全体的にみると暖冬傾向が続き小売店販売は好調でした。米国でも暖冬傾向で、冬季の小売店販売は順調に推移しました。一方、日本では、例年以上に厳しかった冬の影響で小売店販売の動きは低調に終わりました。

また、欧米における市場在庫は適正なレベルのまま順調に推移しています。

このような市況のもと、欧米での堅調な小売店販売に加え、中国スポーツタイプ自転車市場の更なる成長を受け、当社製品に対する需要が増し、第1四半期の売上は予定どおり達成することができました。

この結果、当セグメントの売上高は49,808百万円(前年同期比22.1%増)、営業利益は10,122百万円(前年同期比40.9%増)となりました。

#### 釣具

国内市場では、例年にない大雪と寒波の影響で動きの鈍いスタートとなりましたが、3月以降、市場は立ち上がりの気配を見せております。

当社製品に関しましては、2011年後半に発売した電動リール「Force Master」が引き続き好調に推移いたしました。また、新製品の高級スピニングリール「Vanquish」や、新構造ブレーキシステムによりスーパーロングキャストが可能となったベイトキャストリール「ANTARES」が市場から高い評価をいただき、2011年同期を上回る売上高を上げることができました。

一方、海外市場では、米国で良好な天候により回復傾向にあることや、昨年同時期に洪水被害のあったオセアニア地域の回復などがある一方、欧州では政府債務問題の影響もあり厳しい状況が続きました。

この結果、当セグメントの売上高は12,553百万円(前年同期比26.4%増)、営業利益は650百万円(前年同期比242.2%増)となりました。

#### その他

当セグメントの売上高は110百万円(前年同期比33.0%減)、営業損失は3百万円(前年同期は営業損失49百万円)となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は229,901百万円(前連結会計年度比13,901百万円の増加)となりました。これは、受取手形及び売掛金が3,214百万円、商品及び製品が3,620百万円、建設仮勘定が2,166百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は39,537百万円(前連結会計年度比5,311百万円の増加)となりました。これは、買掛金が2,888百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は190,363百万円(前連結会計年度比8,589百万円の増加)となりました。これは、為替換算調整勘定が7,634百万円増加したこと等によるものです。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、欧州の政府債務問題が一時的に小康状態となったものの、海外経済の先行きに対しては依然として不透明感が残ります。

一方、国内においては、超円高に歯止めがかかり輸出環境の好転が見込まれることや、東日本大震災に伴う復興需要から、緩やかながら景気改善の動きがみられると予測されます。

このような経営環境の中、当社グループは、国内外の経済動向に注視しつつ、こころ躍る製品づくりに邁進すると同時に、それを広く世の中にお届けしていくための迅速かつ効率的な生産体制を拡充してまいります。

これらの活動を通じて、より豊かで、新たな自転車文化、釣り文化の創造を促進してまいります。

なお、平成24年2月8日に公表いたしました連結業績予想につきましては、これを修正し、第2四半期は売上高118,000百万円、営業利益19,000百万円、経常利益18,500百万円、当期純利益13,000百万円、通期は売上高233,000百万円、営業利益36,500百万円、経常利益36,000百万円、当期純利益25,000百万円とさせていただきます。

なお、平成24年2月8日に公表いたしましたとおり、当連結会計年度より、連結子会社27社の事業年度末日を従来の11月30日から12月31日へ変更いたしました。これにより当第1四半期連結累計期間は4ヶ月としております。この結果、売上高2,858百万円、営業利益1,591百万円、経常利益1,719百万円、税金等調整前四半期純利益1,719百万円それぞれ増加いたしました。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	82,252	83,906
受取手形及び売掛金	25,189	28,403
商品及び製品	19,269	22,889
仕掛品	14,971	15,343
原材料及び貯蔵品	4,419	4,441
繰延税金資産	1,878	2,142
その他	3,168	3,600
貸倒引当金	306	248
流動資産合計	150,842	160,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,046	17,473
機械装置及び運搬具(純額)	11,031	11,678
土地	11,152	11,217
リース資産(純額)	47	38
建設仮勘定	3,733	5,900
その他(純額)	3,784	3,912
有形固定資産合計	46,797	50,221
無形固定資産		
のれん	3,737	3,740
ソフトウェア	1,610	1,491
その他	2,758	2,925
無形固定資産合計	8,106	8,158
投資その他の資産		
投資有価証券	6,714	7,833
繰延税金資産	1,472	1,300
その他	2,554	2,391
貸倒引当金	488	485
投資その他の資産合計	10,253	11,040
固定資産合計	65,157	69,420
資産合計	216,000	229,901

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,750	10,638
短期借入金	4,136	4,992
未払法人税等	3,608	4,120
繰延税金負債	298	259
賞与引当金	1,217	1,441
役員賞与引当金	161	42
その他	9,631	11,195
流動負債合計	26,803	32,689
固定負債		
長期借入金	2,928	2,765
繰延税金負債	784	823
退職給付引当金	2,425	2,436
役員退職慰労引当金	1,130	-
その他	152	822
固定負債合計	7,422	6,847
負債合計	34,225	39,537
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,822	5,822
利益剰余金	159,597	159,795
自己株式	124	43
株主資本合計	200,908	201,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	655
為替換算調整勘定	19,767	12,132
その他の包括利益累計額合計	19,719	11,477
少数株主持分	584	653
純資産合計	181,774	190,363
負債純資産合計	216,000	229,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	50,900	62,472
売上原価	32,614	39,048
売上総利益	18,285	23,424
販売費及び一般管理費	10,962	12,654
営業利益	7,323	10,769
営業外収益		
受取利息	158	244
受取配当金	4	5
その他	86	93
営業外収益合計	249	343
営業外費用		
支払利息	48	82
為替差損	689	901
その他	396	26
営業外費用合計	1,134	1,011
経常利益	6,438	10,101
特別損失		
投資有価証券評価損	1,294	-
工場建替関連費用	87	188
特別損失合計	1,381	188
税金等調整前四半期純利益	5,057	9,913
法人税、住民税及び事業税	1,800	3,252
法人税等調整額	1,005	373
法人税等合計	2,806	2,878
少数株主損益調整前四半期純利益	2,250	7,034
少数株主利益	43	36
四半期純利益	2,206	6,998



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,250	7,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	613	607
為替換算調整勘定	569	7,669
その他の包括利益合計	1,182	8,277
四半期包括利益	3,432	15,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,399	15,240
少数株主に係る四半期包括利益	33	71

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

- (4) セグメント情報等  
【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	40,802	9,932	164	50,900	-	50,900
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	40,802	9,932	164	50,900	-	50,900
セグメント利益又は損失( )	7,182	190	49	7,323	-	7,323

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	49,808	12,553	110	62,472	-	62,472
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	49,808	12,553	110	62,472	-	62,472
セグメント利益又は損失( )	10,122	650	3	10,769	-	10,769

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年1月17日開催の取締役会決議に基づき、平成24年1月18日に自己株式の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が3,858百万円増加しております。

また、平成24年2月8日開催の取締役会決議に基づき、平成24年2月13日に自己株式の消却を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が3,939百万円減少しております。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が43百万円となっております。